

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和7年 12 月解析分)

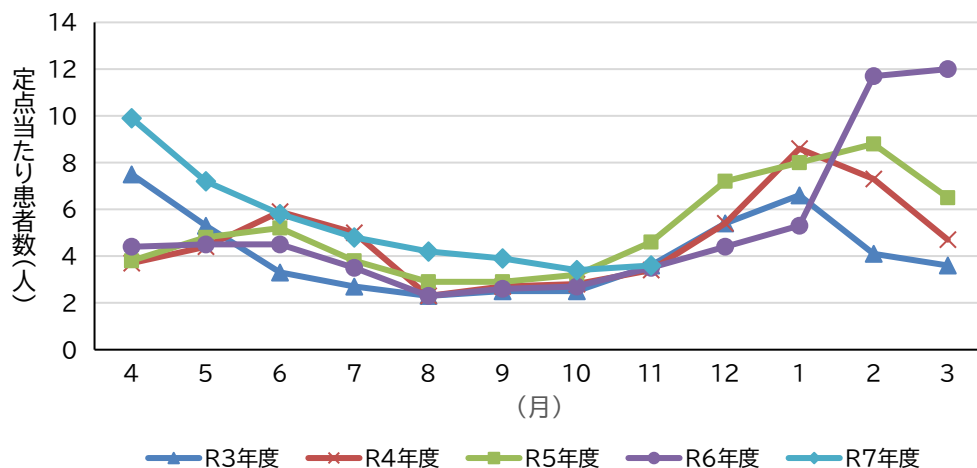
1 今月のトピックス

■ 感染性胃腸炎が増加する時期に入りました！！

- 感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などを原因として、下痢や嘔吐などの症状を引き起こす感染症で、ノロウイルスやロタウイルスによるものが冬場に流行しやすく、この時期は特に注意が必要です。
- 令和3年度からの4年間は11月頃から患者数が増加しており、今年度もこれから患者数が増加する可能性があるため、注意してください。

広島県 感染性胃腸炎 [検索](#)

広島県における定点医療機関当たりの報告患者数(過去5年)



- ノロウイルスは、アルコールに対する抵抗力が強く、アルコール消毒は効きにくいとされており、予防のポイントは、トイレの後や調理・食事の前の、石けんと流水による十分な手洗いです。
- 新型コロナウイルスの感染対策により、アルコール消毒が定着したことで、石けんと流水による手洗いがおろそかになっているとの指摘もあり、改めて、感染対策の基本である「手洗いを十分に行う」を徹底しましょう。

《消毒・除菌方法一覧》

	手 指			モ ノ		
	アルコール消毒	石けんと流水による洗浄	塩素系漂白剤	アルコール消毒	石けんと流水による洗浄	塩素系漂白剤
ノロウイルス ロタウイルス	×	○	×	×	○	○
新型コロナウイルス インフルエンザウイルス	○	○	×	○	○	○



※ それぞれ所定の濃度などがあります。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年11月分(令和7年11月3日～令和7年11月30日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	27,379	72.82	-		11	突発性発しん	34	0.15	0.24	
2	インフルエンザ ※3	8,503	22.61	5.65		12	ヘルパンギーナ	9	0.04	0.25	
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	492	1.31	-		13	流行性耳下腺炎	4	0.02	0.03	
4	RSウイルス感染症	251	1.10	0.21		14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
5	咽頭結膜熱	83	0.36	0.82		15	流行性角結膜炎	99	1.30	0.56	
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	514	2.25	1.31		16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	826	3.62	3.38		17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
8	水痘	36	0.16	0.11		18	マイコプラズマ肺炎	153	1.91	0.76	
9	手足口病	38	0.17	0.82		19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	142	0.62	0.01		20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年11月分(11月1日～11月30日)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号
21	性器クラミジア感染症	58	2.64	2.95	➡	25	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	80	4.00	3.52	⬇
22	性器ヘルペスウイルス感染症	15	0.68	1.05	⬇	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	0.11	
23	尖圭コンジローマ	19	0.86	0.76	⬆	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.00	
24	淋菌感染症	22	1.00	1.21	➡	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	インフルエンザ	(2.10 → 22.61)
○急減疾患	新型コロナウイルス感染症(covid-19)	(2.73 → 1.31)
	手足口病	(0.40 → 0.17)
	ヘルパンギーナ	(0.18 → 0.04)

発生記号(前月と比較)

急増減			1:2以上の増減
増減			1:1.5～2の増減
微増減			1:1.1～1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内155の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	37	57	19	22	20	155

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	24	結核(24)〔西部保健所(2)、西部東保健所(2)、東部保健所(9)、北部保健所(1)、広島市保健所(3)、呉市保健所(2)、福山市保健所(5)〕
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症(6)〔広島市保健所(2)、福山市保健所(4)〕
四類	9	つつが虫病(1)〔西部保健所(1)〕 レジオネラ症(6)〔西部保健所(2)、東部保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(1)〕 日本紅斑熱(2)〔西部東保健所(1)、東部保健所(1)〕
五類	116	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(6)〔東部保健所(1)、広島市保健所(1)、呉市保健所(1)、福山市保健所(3)〕 水痘(入院例)(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(20)〔西部東保健所(1)、東部保健所(2)、北部保健所(2)、広島市保健所(10)、呉市保健所(1)、福山市保健所(4)〕 百日咳(86)〔西部保健所(10)、西部東保健所(25)、東部保健所(2)、広島市保健所(19)、呉市保健所(3)、福山市保健所(27)〕